

## 「金杉台中学校の統合までの間の入学に関する保護者説明会（午前の部）」 会議録

- 1 開催日時 令和2年10月4日（日）  
午前の部：10時00分～11時40分
- 2 開催場所 金杉台小学校 体育館
- 3 参加人数 17人

### 【司会】

皆様、おはようございます。本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。まず、資料等の確認をいたします。5種類ございます。「次第」、「資料1 統合までの間の入学等対応策」、「資料2 進学先に関するアンケート集計結果」、「資料3 令和3年度中学校入学までの今後の流れ」、「ご意見等記入用紙」、「新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設利用者カード」です。不足はございませんでしょうか。

続きまして、皆様方をお願いがございます。会の進行上、携帯電話、スマートフォン等をお持ちの方は、マナーモードにさせていただくか、電源をお切りいただくようご協力をお願いいたします。本日の説明会は、議事録を作成いたします関係上、質疑応答等を録音させていただきます。ご承知おきください。皆様方には、録音・録画・写真撮影はお控えくださいますようお願いいたします。

なお、本日の説明会に新聞社の取材の申込みがあり、記者の出席を了承しております。写真撮影や記事に関しては、ご出席者の皆様方の個人が特定されるようなことのないよう配慮することを申し入れております。ご承知おきください。

本日の説明会ですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、市で定めている「船橋市における公共施設再開に向けての基本的な基準」に準じ、皆様方にもご協力をいただきながら進めさせていただきます。入場時には、検温等の体調確認、手指の消毒、マスクの着用、などにご協力をいただきありがとうございました。こちらの会場内では、密を避けるため座席間隔をとり、換気、マイクの消毒等適宜行いながら、進行してまいります。また、咳エチケットにご協力いただきつつ、質疑応答の発言の際には、マスクを着用したままでお願いいたします。お配りしました「新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設利用者カード」についてご説明いたします。あらかじめ座席に置かせていただいておりますが、このカードは、皆様の体調確認とご連絡先を記入いただくとともに、万一、発症者等が出た場合には、保健所による疫学調査のため、保健所等へ提出いたしますのでご承知おきください。その際、お座りいただいている位置も特定する必要があるため、座席位置がわかるように番号で管理させていただきます。お預かりした施設利用者カードについては、新型コロナウイルス感染拡大防止にのみ利用し、1か月間適切に保管・管理したのち廃棄いたします。説明会終了後、ご記入いただいた施設利用者カードを必ずご提出ください。

また、本日の説明会の終了時刻は、11時30分を予定しております。学校をお借りしていますので、限られた時間となりますが、ご理解いただきますようお願いいたし

ます。

なお、本日の説明会にあたり、金杉台小学校の校長先生、教頭先生をはじめ先生方のご協力をいただきましたこと、感謝申し上げます。また、金杉台中学校及び御滝中学校の校長先生には、現在の中学校の現状や統合に向けた対応についてご説明をいただけることとなり、本日ご出席をいただいておりますことを感謝申し上げます。

それでは、ただいまより「金杉台中学校の統合までの間の入学に関する保護者説明会」を始めます。

はじめに、船橋市教育委員会管理部長よりご挨拶申し上げます。

#### 【管理部長】挨拶

皆さんおはようございます。

本日はお忙しい中、またお休みの中、説明会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

この3月5日に金杉台中学校につきましては、御滝中学校との統合ということの方針を決定いたしました。本来ならば3月中に地域説明会という形で皆様にご説明させていただくところなんですけれども、新型コロナウイルスの感染拡大に伴いまして今日まで延びてしまいました。この間ホームページや通知にて限られたご案内に留まってしまったことについてまずはお詫びしたいと思います。

現在、令和5年4月の統合に向けていろいろ整理をしているところでございます。実際今の小学校5年生、6年生にとっては中学校在学中に統合となってしまうということになります。先日行いましたアンケートの中でも統合についての様々な不安ですとかご意見をいただきました。まさにそのご意見についてはごもっともなお話だというふうに受けとめてございます。

今日の説明会は、説明会という形はございますけれども、そういったご不安や今後の対応について丁寧にお答えさせていただきたいと思っております。またせっかくですので、今日は皆さんからも直接ご質問等もいただきたいというふうに思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

#### 【司会】

ここで、出席職員の紹介をいたします。

#### 【順次、紹介】

本日の説明と質疑応答の流れについてご説明いたします。まず、次第の「2. 金杉台中学校の統合までの間の入学等対応策について」、それから「3. 進学先に関するアンケート集計結果について」、こちらを教育委員会の各担当からご説明いたします。そのあと、この二つについての質疑応答の時間を設けます。そのあと、次第の「4. 令和3年度中学校入学までの今後の流れ」について、教育委員会の担当からご説明し、質疑応答の時間を設けます。それでは、早速、次第に従い進めさせていただきます。

【教育総務課長】

次第の 2、金杉台中学校の統合までの間の入学等対応策について、お手元の資料 1 をご用意ください。まず、この入学等対応策を決定するまでの経緯についてご説明いたします。教育委員会では、今年 3 月 5 日に開催されました教育委員会会議臨時会において船橋市立金杉台中学校の統合方針を議決し、令和 5 年 4 月に金杉台中学校は御滝中学校に統合することを決定しました。

統合を決定するに至った理由は、小規模化した学校の課題として挙げられる、集団生活上、教育活動・学習指導上、学校運営上の問題を解消し、子供たちの教育環境の向上を図るため、金杉台中学校は御滝中学校と統合することが望ましいと考えたためです。次に、統合の時期に関しては、統合先である御滝中学校の受け入れ体制の整備などを考慮しても、2 年間で統合が可能と考えますが、統合方針決定時には、既に入学準備を済ませていた、当時の小学 6 年生については、教育的配慮として、そのまま金杉台中学校で卒業を迎えることができるよう、3 年後の令和 5 年 4 月とすることといたしました。また、統合の移行期となる、令和 3、4 年度に金杉台中学校に進学する児童、つまり、現時点での小学 5・6 年生にとりましては、学年の途中で御滝中学校へ統合となることへの不安や、統合後の制服はどうなるのかなど、これから進学先を決定するにあたっての悩みやご心配事の課題を整理し、安心して進学先を選択できるよう、6 年生が進路を考える秋までに対応策を決定し、皆さんにご説明する必要がございました。そこで、金杉台中学校、御滝中学校の両校にとって望ましい教育環境を整えること、各家庭の多様な考えに可能な限り寄り添うこと、統合に向けて生徒の心情面や各家庭での負担を軽減すること、統合後の学校生活をスムーズに送れるよう配慮すること、この 4 点を重視しながら、教育委員会及び統合準備会で諸課題を整理した対応策の案を作成しまして、7 月に実施した進学先に関するアンケートにより皆さんのご意見をお聞きした上で、お手元の入学等対応策を決定いたしました。それではこれよりこの対応策について、所管する各担当課から詳細をご説明いたします。

【学務課長】

資料のうち、「1 統合までの間（令和 3、4 年）に入学する中学校」について学務課から説明いたします。統合までの 2 年間、金杉台中学校の指定学区に住んでいるお子さんについては、金杉台中学校に入学していただくことを原則とし、この間に入学したお子さんは、それぞれ 3 年生に進級時、2 年生に進級時に御滝中学校に転校していただくこととなります。ただし、中学校入学時に、通学指定校変更を申請することにより、御滝中学校に指定校変更することができます。通学指定校変更を認める理由として、アンケートの際にお示しした「案」では、「①入学時に御滝中学校 2、3 年生に兄・姉が在籍している、②金杉台中学校に希望する部活動がない、③統合時に転校することを望まない」の 3 点を挙げておりました。そのうち、「金杉台中学校に希望する部活動がなく、御滝中学校にはその部活動がある場合」を理由とした申請を行う場合、児童本人が記載する「通学指定校変更に伴う部活動入部願」を希望する中学校に

持参し、校長との面接、校長の承認を経て学務課に指定校変更申請する必要があります。これに対し、「統合時に転校することを望まない」を理由とする場合、添付書類等なく通学指定校変更申請書を提出していただくだけなので、部活動の理由については「転校を望まない」の理由に含むものとし、手続きの簡略化を図ることとしました。そのほか、記載事項に変更はございません。なお、申請用紙は入学通知書と一緒に送付し、小学校を通して提出していただくことを予定しています。

#### 【指導課長】

続きまして、「2 統合までの間（令和3、4年）に入学する児童の制服・学用品等について」、「3 統合に向けた生徒の交流について」、指導課から説明いたします。この2、3いずれに関しても、統合に向けて生徒の心情面の負担を軽減し、統合後の学校生活をスムーズに送れるよう配慮するという観点からまとめました。アンケートの際にお示しした「案」の段階から、記載事項に変更はございません。まず、制服・学用品等に関しては、令和3年4月、令和4年4月に入学する児童のうち、金杉台中学校に入学する児童については、金杉台中学校の制服、御滝中学校の制服、どちらを着用してもよいものとし、また、令和5年4月の統合後、金杉台中学校の制服をお持ちの生徒は、卒業まで金杉台中学校の制服を着用できるものとし、また、希望する生徒には制服バンクやリサイクルを利用して御滝中学校の制服も着用できるよう、今後、準備を進めてまいります。なお、制服以外の学用品等についても両学校間で調整いたしまして、令和3年4月以降、保護者に転校による金銭的負担が生じないようにいたします。

交流に関しても、統合に向けて、両校の教育課程や学校行事等を調整し、生徒たちの交流事業を計画してまいります。また両校で類似する部活動がある場合については、合同練習などの交流を行うことを検討いたします。

#### 【教育総務課長】

続きまして、次第の3、進学先に関するアンケート集計結果について、資料2にてご説明いたします。このアンケートは、統合までの間の入学等対応策案へのご意見と現時点での進学先や統合への不安等をお伺いすることを目的に、7月に行いました。多くの方からご回答をいただいたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。集計結果をまとめた報告冊子は、保護者説明会のご案内とともに、既に皆様に配付いたしましたので、ここでの説明は割愛いたしますが、要点については、1ページの「概要」のとおりまとめましたのでご確認いただければと思います。

2ページをご覧ください。「統合に向けての疑問・ご質問」をまとめました。アンケートでは、統合までの間の入学等対応策案に関しては、多くの方からご賛同をいただきましたが、一方で、良いと思えない点など自由記述によりご意見・ご質問をいただきました。また、アンケートの巻末に自由記述欄を設け、統合や統合に伴う転校に対して心配な点や不安なことなどをご記入いただいたところ、転校時や統合後の学校生

活に関する様々なご意見がありました。アンケートの自由記述に関しては、全てのご意見をこの場でご紹介することはできませんが、寄せられた質問やご意見をまとめ、これより、教育委員会の考えについてご説明いたします。

**【学務課長】**

まず1番の「人数が少なくても金杉台中学校に入学できますか？希望者が少数のとき、統合が早まってしまいますか？」という質問です。これにつきましては、人数が少なくても希望していただく限り、入学することはできます。アンケートの結果からしますと、かなり少ない人数となることも考えられるため、10月中旬に意向調査及び選択照会を行い、その回答状況をお知らせしたいと考えております。「人数によって金杉台中学校に入学を考えたい」と回答された方には、把握した人数をお伝えした上で改めてご意向を確認します。手続きについては、このあと次第4にて資料3を見ていただきながらご説明いたします。

**【教育総務課長】**

なお、質問の後段、「希望者が少数のとき、統合が早まってしまいますか？」については、統合時期は令和5年4月の予定です。統合時期を変更することはございません。

**【学務課長】**

次に2番の「選択地域のように、指定学区も通学指定校変更申請を省くことはできませんか？」の質問です。令和5年の統合までの間は、金杉台中学校の指定学区はそのままのため、お手数おかけいたしますが、小学校を通じて指定校変更申請書をご提出いただくこととなります。詳細につきましては、このあとご説明いたします。

**【指導課長】**

3番の「制服以外のカバンやシューズの扱いは？」についてです。次第の2でご説明させていただきましたとおり、金杉台中学校の入学の際には、家庭の経済的負担も考え、金杉台中学校、御滝中学校のどちらの制服も着用可とします。また、制服以外のカバンやシューズ、体操服、上履きなども同様に着用可とします。統合に伴う転校後も、どちらの学校のものを使用しても構いません。制服以外も金杉台中学校で使用していたものでも可といたします。また、学校で使用する副教材などについても、現小学校6年生が中学校入学となる令和3年4月から共通化していきたいと考えております。

続きまして、4番の「学校行事を一緒にする交流はできますか？」についてです。統合に向けた生徒同士の交流を考えますと、やはり友人関係を良好にしていくためにも、行事を一緒に行うことはとても大切なことです。学校には、卒業式、音楽祭、運動会、校外学習等、様々な行事があります。それぞれの学校で行ったほうがよい行事

もありますので、学校と話し合いながら、実施したいと考えております。

**【保健体育課長】**

5番の「部活動の交流は統合に向けて合同チームにできますか？」のご質問にお答えします。朝練習や放課後練習で、生徒が毎日行き来することを考えますと、毎日一緒に行くことは難しいため、統合までの期間は交流という形が望ましいのではないかと考えています。なお、こちらにつきましても、校長先生及び実際に指導を行っていたたく両校の部活動顧問の間で調整をしていただきたいと思いますと考えております。

**【指導課長】**

6番の「御滝中学校は人数が多いので不安。一人一人の子供に先生の目が行き届かなくなるのでは？」についてです。まず、学級数・生徒数ともに多い御滝中学校への統合に不安等を感じさせてしまい申し訳ございません。そのために、統合前から交流事業を行うなど、可能な限り不安を軽減できるよう、進めてまいります。御滝中学校ですが先生方の人数も多いです。担任の先生だけでなく学校全体で見守り体制をつくり、より多くの目で生徒一人一人を見て支援していきます。

続きまして、7番「統合の際、2年だけでなく、3年進級時にもクラス替えを行ってほしい。」についてです。統合の際の金杉台中学校の生徒の心のケアはやはり最大限大切と考えます。クラス替えが可能かどうか、学校と検討していきます。

**【学務課長】**

8番の「統合の際、金杉台中学校の先生が御滝中学校へ異動できますか？」についてです。教員の異動については、異動する教員の希望、それから教科担任制ということなどがありますので、難しい面もございますが、可能な限り配慮していきたいと考えております。

**【指導課長】**

続きまして4ページ、9番の「いじめが心配。仲間外れなどが起きないように配慮してくれますか？」についてです。いじめ等は色々なところで問題視されておりますが、やはり気になるところだとこちらも思っております。これについて、教育課程では、学級活動、道徳、そういった授業など、教育活動全体の様々な機会を使って、望ましい集団生活のあり方について指導や支援をしていきます。また、担任の先生だけでなく、学年や学校全体で見守り体制をつくって、生徒一人一人を見ていきます。また、いじめの対応を含め、生徒全員が安心して学校生活を送れるように支援してまいります。

続きまして、10番の「勉強、修学旅行、受験、学校生活など、統合で環境が変わることが不安です。」というご意見です。こちらをもっともなご意見だと思っております。統合の際には、受け入れについて、御滝中学校の生徒に丁寧に話をします。金杉

台中学校の生徒には、できるだけ不安にさせないように様々な形でサポートをし、統合の良さをしっかり出せるようにしたいと考えております。また、少しでも早く学校生活に慣れてもらえるよう、ガイダンスや交流活動を充実させていき、学校全体で、心のケアを行い支援してまいります。統合は、確かに不安を覚えるとは思いますが、しかし、様々な不安を解消できるように学習面・生活面等において全力でサポートしてまいります。

続きまして、11番「学習の進み方や成績・内申の扱いは、統合したらどうなりますか？」についてです。中学校につきましては進路もかかわってきますので大事なことだと思います。各学年の学習は1年ごとに完結することが基本なので学習の進み方に問題ありません。しかし、中には中学校3年間で指導する教科もあるので、統合に当たっては、統合前（令和4年度末）までの既習内容が、金杉台中学校と御滝中学校とで差が出ないように教育課程を調整いたします。なお、中1・中2の成績は、統合前のものとなります。

**【教育総務課長】**

12番の「それぞれの中学校の生徒会やPTAなどはどうなりますか？」についてです。教育委員会のほか金杉台小・中学校、御滝中学校の関係校の教職員と保護者・PTAの代表者で組織する統合準備会で、統合に向けた諸課題の一つとして、今後具体的な検討をしていただく予定です。

続きまして13番の「統合しても教室は足りませんか？」の質問です。統合後の御滝中学校の生徒数・学級数を推計していますが、現在の施設で受け入れは可能です。

**【総合教育センター教育支援室長】**

続いて14番の「学習などに不安がある子供は少人数の金杉台中学校では安心ですが、統合後の学校生活が不安です。」についてです。学習面などに限らず対人関係や生活面など配慮を必要とする児童生徒の支援につきましては、学級担任をはじめ、特別支援教育コーディネーターや生徒指導担当を中心に校内で課題や支援の方法について共通理解を図りながら組織的に、学校の状況に応じて積極的に取り組むべきものと考えております。統合時におきましては現担任を通じて丁寧に引き継ぎを行い、御滝中学校でも情報が共有されるよう配慮してまいります。また、学校はもちろんですが、教育委員会も学校と連携して取り組んでまいりますので、不安等がございましたら、ご相談いただければと思います。

**【教育総務課長】**

15番、「コロナ禍において基礎疾患があるので感染リスクの小さな環境で学ばせたい。落ち着くまでの間、金杉台中学校の統合を先延ばしできませんか？」のご質問についてです。現在のところ、新型コロナウイルス感染症の状況に伴う統合の延期は、現時点では考えておりません。

**【保健体育課長】**

あわせて補足をさせていただきますが、今、学校では、「学校生活における感染症対策マニュアル」というものにより感染防止、感染拡大防止について対策を行っていたいております。今後、統合しても、この感染予防対策は行っていきたいと考えておりますので、どうぞご安心いただきたいと思います。

**【指導課長】**

最後に 16 番、「金杉台小学校と金杉台中学校の小中連携教育は今後どうなりますか？」についてです。今年度は、新型コロナウイルス感染症への対応のため、行事を一緒に行うことはできませんでしたが、統合までの間の令和 3 年度、4 年度の行事については、両校で検討してまいります。

**【教育総務課長】**

以上、16 問、進学先に関するアンケートの集計結果報告についての説明は、以上でございます。

**【司会】**

ここで、金杉台中学校、御滝中学校の両校の校長先生から、教育委員会の説明への補足や現在の中学校の様子や統合に向けた対応などについてお話をいただきます。では、金杉台中学校の芦田校長先生、よろしくお願ひいたします。

**【金杉台中学校 校長】**

おはようございます。私は元々保健体育の教員でありまして、体育の教員でしたので、部活動はいろいろやりましたが、自分でも経験があるサッカー部を担当することが多くありました。

平成 30 年、2018 年 4 月より金杉台中学校にお世話になり、今年度で 3 年目を迎えております。ですので、今の 3 年生が入学したときから金杉台中学校にいるとご理解ください。平成 29 年度より金杉台中学校の今後を考える会というもので、意見交換等が行われていたようです。着任後早々、この会に参加を求められてきましたが、学校の今後も大切なことではありますが、自分としては、今のことしか考えられないということを書いていたことが思い出されます。なぜなら、中学校での生活というのは 3 年間しかありません。今人生 80 年あるいは 100 年時代と言われております。そう考えるとこの 3 年間というのは一生のうちのほんの一部かもしれませんけれども、この 3 年間は人の一生を左右すると言っても過言ではないと自分では思って教育活動に当たっておりました。要するに今日の前の子供たちの 3 年間の生活のことが最も重要なことだと考えられるからです。生徒数が少ない、あるいは部活動の数も少ない。既存の部活動でもチームの必要数の部員がいない。野球部は 9 人必要ですけれども、1 人

のときもあったようです。2人のときもありました。このような状況の中で子供たちの活動をどのように盛り立て、活躍の場を増やしていくか、などを考えながら日々の実践に取り組んでおります。また、学習面においても、わからないことやわからなかったことがわかるようになること。できないこと、できなかったことができるようになること。経験したことはないことを経験させてあげることなど、子供たちが持っている力を最大限に引き出せるように努力しているつもりでおります。平成31年1月に行われた成人の日記念駅伝競走が終わった直後から、毎朝トレーニングを積み重ね、その結果、駅伝で最下位を抜け出せるようになりました。特に人数が少ないので、集団的スポーツで市内の上位を目指すには厳しい状況にあります。ですので、陸上競技の長距離に重点をあてて今現在、頑張らせております。なかなか長い距離を走るということは、子供たちにとって非常に厳しいことで、特に女の子には敬遠されることであって、女子生徒にいろいろ話をして、首を縦に振る子がなかなかなくて、今年度も女子の駅伝には参加できない状況にあります。この長距離も努力を積み重ねていくと、個人差はありますけれども、数十秒あるいは何分という単位で記録が伸びていきます。ですので、この活動を通して、努力の大切さを学び、標準記録を突破すれば全国大会にも出場可能な競技でもありますので、自分の可能性を追い求めてほしいと、日々考えております。

ちょっと前置きが長くなりましたが、さて、来年度、再来年度に金杉台中学校への入学をお考えの方は迷わず御滝中学校の制服・ジャージ・体操服等を購入するようにしてください。なお、通学に使用する運動靴については本校では特に色の指定がございませんので、小学校のときに使っていたものでも構いませんし、新たに購入される場合は体育の授業のときに、全力疾走できるものという基準でお選びください。決して高価なランニングシューズを購入してほしいということではございませんので、ご理解ください。また上履きについてもどちらでも構いません。小学校のように、毎週金曜日になると上履きを持って帰らせるということは中学校ではやっておりませんので、だんだん使っていくと言いか悪いですけど醤油で煮込んだような色をしてきますけれども、そうやってあまりに酷ければ靴のサイズもだんだん大きくなる時期でもあろうかと思えます。よく3年生になると、上履きが汚いと受験に行くのにみっともないので早い段階で新しいものを購入したほうが良いと過去に言っていたこともあります。統合時に新しいものを購入されても、どちらでも構いません。

本日この場で皆様にお話した内容は、今月16日に行われます前期の終了式の中で、本校生徒に、来年の新1年生は、御滝中学校の制服を着て入学してくるから、といったような内容で説明をする予定です。今現在も湊中学校や旭中学校から転入してきたお子さんがいます。その子たちに必ず言うことは、「君が嫌じゃなければ、前の学校のもの、ジャージでも体操服でも使っていていいですよ。確かに1人だけ違ったものを着ていると、目立つことは目立つんですけども、君が気にしないのであればそのように使ってください」ということで話をしています。今後、在校生にもですね。そういうことをいろいろ話をして理解をさせていこうと考えております。何かご不明な点がご

ございましたら事前にご連絡いただければお目にかかってお話をすることが可能ですのでお知らせ下さい。

**【司会】**

ありがとうございました。では、御滝中学校の河上校長先生、よろしく願いいたします。

**【御滝中学校 校長】**

皆様、改めましておはようございます。保護者の皆様の心配やご不安な思いを、このアンケート結果から伺うことができました。御滝中学校として、皆様に今の時点でお伝えしたいことがありますので、少しお時間をいただければと思います。

御滝中学校としては、金杉台中学校とより良い統合ができるよう具体的な準備や取組を進めていかなければなりません。統合後に金杉台中学校の生徒が安心して学校生活を送ることができるようにすることが第一と考えます。2校の統合ですが、両校の人数に大きな差があることにより、令和3年度、4年度に金杉台中学校に入学する生徒、保護者の皆様にとりましては、統合時に御滝中学校に移ることの心配が大きいと思います。ですから、令和5年度の統合時に、御滝中学校と金杉台中学校の生徒が一緒になって、新たに歩いていくという姿勢を大切にしたいと思います。まず、御滝中学校の生徒に令和5年度の統合を伝え、生徒にもしっかりと意識付けていきたいと思います。いまの在校生は全員が令和5年度には卒業してしまっているので、実感が湧かないところではあるのですが、統合に向けて来年度、再来年度に準備を進める必要があること、その中で取り組んでいくことや、どういう学校にしていかなければならないかということを生徒にも考えさせたいと思います。そして、何よりも大切なことは、最初にもお伝えしたように、安心して一緒に生活できるあたたかい学校づくりだと思いますので、校長として子供たちが安心して生活できる学校づくりをこれまで以上に進めていきたいと思っています。

続いて、資料のご質問についてです。ちょっと補足をさせていただきたいと思います。資料2の3ページの6に「御滝中学校は人数が多いので不安。一人一人の子供に先生の目が行き届かなくなるのでは」とあります。確かに、生徒数が少ない学校では、先生も個々の生徒に目を配りやすいことはあります。逆に、人数が多い場合はどうでしょうか。生徒数が多いですから、先生方も多いです。先生が多いということは、それぞれの先生方が、自分の特徴や良さを生かして、教科指導や部活動、行事、委員会活動などの学校生活の場で、多くの視点で子供たちに関わることができる、子供たちの成長を見守ることができる、ということであると思います。生徒数が少ない場合、多い場合、それぞれ良さがあると思います。いずれにしても、学校の先生方は、金杉台中学校でも御滝中学校でも、子供たち一人一人を大切に思い、育み、子供たちのより良い成長を支援するために頑張っています。これは、どこの学校でも変わらないと思います。次に、7の「統合の際、2年だけでなく、3年でもクラス替えを行ってほし

い」ということについてです。中学校では、通常、2年進級時にクラス替えを行い、2・3年生は同じ学級で過ごします。これは中学校の教育課程、学校行事を踏まえ、生徒同士が人間関係を築き、学級としてのまとまりを深めながら、卒業に向けて、充実した学校生活を送ることができるよう考えてのことです。各クラスが統合時に金杉台中学校の生徒をあたたかく迎え、一緒に更によいクラスになるようにすることが一番大切ではないかと思えます。続いて、9と10についてです。いじめや仲間外れがないように配慮することは当然のことだと思います。金杉台中学校の生徒は、それまでと異なり、大勢の中で生活することになりますから、仲良くなれるか、仲間には入れるか、ひとりぼっちにならないか、いじめにあわないかなど、不安がいっぱいだと思います。ですから、子供たちの様子を注意深く見守りながら、意識的に声を掛け心配や不安を取り除いたり、子供たちの交流が深まるような活動を取り入れたりして、生活に慣れ、クラスの一員として、クラスが一つになるようにしていきたいと思えます。また、金杉台中学校での学校生活や活動で、学んできたことを御滝中学校でぜひ生かしてほしいと思えますので、一人一人の良さを発揮できるようにしていきたいと思えます。質問に関して補足説明は以上です。

ここで、現在の御滝中学校の様子について、ご紹介させていただきます。子供たちは落ち着いた雰囲気です。先月の13日には、今年度、全校生徒での初めての行事となる運動会を実施しました。保護者の参観はなしで、半日で開催しましたが、運動会を成功させようという子供たちの思いや、頑張る姿、仲間を応援するあたたかい姿がたくさん見られ、笑顔があふれる運動会になったと思っています。部活動では、運動部の秋季大会、新人戦が現在行われています。男子バスケットボール部が準優勝を果たし、県大会出場を決めました。御滝中学校は大変多くの部活動がありますので、これからも大会やコンクールなどが続きます。また、全ての部活動から選抜された選手で来週行われる市内駅伝大会に向けて練習に励んでいるところです。

中学校では、様々な問題も起こります。中学校は、思春期の子供たちが、いろいろなことを経験する中で成長をする場だと思っています。子供たち同士でトラブルが起こることもあります。間違ってたり失敗したりすることもあります。自分自身のことや友達のことなどで悩み苦しむ子もいます。更に、その年によって学校の雰囲気や状況が変わることもあります。ですから、統合後も心配なことが出てくると思えます。そのときは、学校としてできることはしっかり対応していきたいと思えますので、何かあればご相談いただければと思っています。学校と保護者と一緒に子供を育てていければと思っています。御滝中学校についてご質問等があれば、意見記入用紙にご記入いただければと思っています。今後ともよろしく願いいたします。

#### 【司会】

金杉台中学校、御滝中学校の校長先生方、ありがとうございました。ここまでの説明について、ご質問・ご意見をお伺いしてまいります。着席したままで構いませんの

で、ご質問・ご意見のある方は挙手にてお知らせください。係員がマイクをお持ちしますので、マスク着用のままでご発言をお願いいたします。なお、より多くの方に発言いただけるよう、お一人の時間は長くてもおおむね 3 分程度でお願いいたします。このあとのご説明もございますので、質疑応答の終了時刻は一旦 11 時 15 分頃までを目安で終了とさせていただきます、次の説明に移りたいと考えております。では、質問・ご意見のある方、いらっしゃいますでしょうか。

※以下、発言者の意見にかかわらない部分において、事実と相違する内容について、誤解を招かないようにするため、補足しています。

#### 【発言者①】

質問がたくさんあるのですが、まず一つ目。開催の曜日なんですが、今までずっと土曜日でした。土曜日参加しにくいので、別の曜日も開いてくださいとお願いしたけれど、とうとう土曜日しか開催していただけませんでした。今回急に日曜日だったので驚いています。なんで土曜日じゃなくて日曜日なのか教えてください。

2 点目ですが、子供への説明。今後、子供に対して説明があるそうですが、子供の意見を聞いてほしい。それから子供にどういう経過で今どうなっていると、子供に教育長から直接説明してください、と繰り返しお願いしました。けれど不安を与えるからという理由で、今までその説明がありませんでした。それが、今回、不安を与えずに説明できるのか、疑問に思っているんですけど、なぜそう変わったのか教えてください。

3 点目としては、統合は決定したということではほとんど話が進んでいるようなのですが、これ方針が決定したんですね。最終的な統合の決定は、議会の議決によると思います。議会の議決、まだされていませので、統合は決定ではないと思うんです。

4 点目、交流について、統合せずに金杉台中学校を存続するためにクラブ活動が問題があるというふうな話が教育委員会からあったんですけど、保護者の方からは合同でやったらいいじゃないかという意見もありましたけども、それもずっと無視されていました。ところが今度は統合の方針が決定したとたんに、手のひらを返したようにクラブ活動も合同でやります、みたいに方針が変わっています。それはなぜそのように変わったのでしょうか。

5 点目、新型コロナウイルスの感染についてです。クラブ活動もそうなんですけれど、今までは合同でやらないというのが今度感染のリスクが出てきたのに合同でやるという。これすごい矛盾していますよね。そんなふうに今までいろいろ質問してきました。例えば、このアンケートの質問がありますけれど、今回ろくに説明されてないと思います。なぜかっていうと検討するとか配慮するとか、具体的なものが何も示されていません。私たちが今まで意見述べてきた中で、問題点、様々指摘しました。例

例えば、御滝中学校の校長先生は不安があったら相談してください、問題があったら相談してください。ということでした。ところがこれ実例です。クラブ活動が問題でそれで不登校。学校に相談した。けれど、クラブ活動はオプションである。学校本来のものでないので、というのでほとんど門前払いされた。というふうな話、確かしていたと思うんですけど。具体的にどうするか。相談しました。話は聞きました。でも対応しません。ということだと。もちろん今の校長先生ではないと思いますけどね。アンケートでこういう問題があります、ああいう問題があります。具体例を示されていないのに、それで意見の採決をするってそんなことでいいんですか、ってアンケートに書いたんですが、相変わらず、検討する、配慮すると、具体的なことをまったく示されていません。何のために、人呼んで説明すると言っているのかよくわかりません。

それから、ウイルスの感染、6点目なんですけれども、7月8日でしたかね、文部科学省の30人学級、答申されてると思います。なぜかという、生徒が密になるのを避けるため、コロナウイルスの感染の対策として、30人学級を検討しなさいと、諮問委員会から文部科学大臣に答申が出ています。（教育総務課補足：9月8日の教育再生実行会議ワーキンググループでは、少人数によるきめ細かな指導体制・環境整備について、中間答申が出され、9月8日、萩生田文部科学大臣兼教育再生大臣が安倍首相に中間答申を提出しました。）もしこれ、実現するかどうかわかりませんが、30人学級実現することになると、統合した中学校また復活するような事態がありうるんじゃないでしょうか。これアンケートで指摘したところなんですけれども、予想したとおりにマニュアルを遵守しますという回答でした。失敗したら遵守したけどダメだった、という言い訳になると思うんですけど。アンケート指摘したとおりに、マニュアル全くあてになりません。教育委員会、感染症の専門家はいらっしやらないですよ。一応私、職場でそういうこと担当しておりますので。教育委員に開業医のお医者さんいますけれど、多分あんまりあてにならないでしょう。とにかく距離とるのが一番大事だっていうのを少なくともヨーロッパではそのようにされていますので。統合すれば密度上がるわけなんですけれども、あてにならないマニュアルを遵守して、お墨付きもらった飲食店だとか旅館とかでクラスター発生しています。あのマニュアルあてにならないのは確かです。それがわかっていてマニュアルを守っているから大丈夫ですよって。どうしてそんなことが言えるのかというのがよくわかりません。その辺のところ説明をお願いします。

#### 【教育総務課長】

何点かあり、関係するところについてお答えしたいと思います。まず土曜日開催がなぜ今回日曜日になったのかというお話でございますが、今回コロナの関係で保護者説明会等をすぐにできませんでした。その点についてはお詫びいたします。土曜日曜の話ですが、決めるときに、9月と10月の第1、第3、第5の土曜日に授業も行うということが発表されていまして、そういうこともありまして土曜日ではなく日曜

日にさせていただいたという形でございます。

次に、子供たちに説明をしてなくて、教育長からはどうなっているというようなお話だったと思うんですが、先ほど校長先生からもございましたけれども、教育委員会といたしましては、教育長あるいは教育委員ですとか教育委員会の事務の職員が子供たちに説明するよりは、いつも子供たちと直接向き合っていております学校からの説明が一番よろしいのではないかという形で、子供たちの説明について、学校からということで今調整をさせていただいているところでございます。

あとは、検討、検討ということで、何も示されてないんじゃないか、というお話もあつたと思うんですが、まさに検討していることにつきましては、このような場で、皆さんにお知らせするといいますか、あと例えば、統合準備会というのを作りましたけれども、統合準備会だよりですとか、その都度、学校を通じてお配りする、あるいはホームページのほうに載せたりしてございますので、決まったことについてはなるべく早めに、皆さんにお知らせはしたいと思っております。検討途中のことについても、こういうことで情報提供させていただいておりますので、ご理解いただければと思います。

あとは30人学級の話だったと思うのですが、国の教育再生実行会議でそういうような話が出ているということはもちろん承知しておりますが、まだ今のところいつまでにどのようなロードマップがまだ出ておりません。また国も認識されていると思うんですが、30人学級にするためには学校の先生の数を確保しなければならないですとか、あと教室の数を確保しなければならないという課題がまだあるということですので、そちらのほうの方向性がわかりまして、そういうものが示されましたら、またこちらのほうでもそれを含めて検討することとなると思いますが、今現在まだ示されてございませんので、このまま統合に向けての検討は続けてまいる、ということでございます。

#### 【保健体育課長】

今、部活動の合同のお話がありました。以前もこの合同の話をしていただいたときに、子供たち生徒が合同にすることによって、行き来することを考えますと難しいのではないかというご説明をさせていただきました。今日もお話させていただいた中で、やはり毎日の朝練習や放課後の練習を一緒にするためには少なからず行き来をする時間を考えるのが難しいので、交流という形がよいのではないかということでお話をさせていただいております。

それからウイルスの感染の関係ですが、おっしゃいますように人数が多ければ、密になる可能性も高いですが、市内の生徒が多い学校でも、現在、この「学校生活における感染症対策マニュアル」に沿って対策を講じていただいております。距離も大事なんですけれどもそれ以外にマスクをつけるとか、子供たちために手を洗うとか、食事の際には一斉に前を向いて、中学校は本来ランチルームを使っておりますが、今はランチルームをやめて教室で食べております。そういう方法での対応を現在行ってい

ます。このマニュアルにつきましては当然、我々素人でございますので、保健所の助言をいただいて、作成して行っておりますので、ご承知をお願いします。

**【指導課長】**

不安や相談、そういったところに寄り添っていくというところで、具体的な事例をお示しいただきまして、部活動が理由で不登校になってしまったということですが、これにつきましては、部活動であろうと様々な理由において不登校になった場合につきましては、これはきちっと対応していかなきゃいけない。常日頃から教育委員会として学校にも周知しているところでもあります。特に不登校については、本市においても喫緊の課題になっています。様々な要因でそうなってしまいますので、やはり基本的に対応として、学校生活の悩みや不安を取り除いてあげることが大切だということと、普段からの生徒との関係と教育相談等を充実させて対応していかなければならないと考えております。ですからこの対応については再度また、教育委員会が学校と連携して継続してやっていかなければならないというふうに改めて思っているところです。ありがとうございます。

**【管理部長】**

今ご質問いただいた中で一つご回答できていないところがあるかと思っております。統合に向けて議会の議決がまだではないかというご質問だったと思います。金杉台中学校の統合についてはこれまでの経緯、それから今後その統合に向けてのどのような形で取り組んでいくかというところは、機会をとらえて議会にも説明しておりますし、議会からは大筋の中ではご理解いただけているものと思っております。実際、市民の方からも統合の撤廃について議会のほうにも陳情が出ておりますけれども、議会の中では陳情については採択されていないという結果を踏まえて、少なくとも現時点では統合に向けてはご理解いただいているというふうに思っております。ただ2年半ありますので、しっかりその辺のところは準備していきたいと思っております。

それから、先ほど30人学級の話がございました。答申という話ではございますけれども、中央教育審議会でも30人学級についていろいろご意見が出ていることは間違いありません。現在、来年度の予算編成に向けて、その30人学級の実現に向けて丁寧に検討していくということが報道されております。文部科学省のほうから示されている中では、やはり教員の確保をどうするかということが非常に大きな問題だという認識がありまして、今のところは実現できたにしても10年後というようなことが検討されている、と記事で拝見しているところです。

**【司会】**

ほかにご質問ご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。

**【発言者②】**

質問をしたいこと、意見、いろいろありますけれども、今の新型コロナ感染症対策が必要となってきたという、統合に向けての話し合いの中では全く予想されていなかった、新たな事態が出てきたというところに集中して質問したいというか、要望したいと思うんです。マニュアルをきちんと定めてそれを守っていても、感染リスクが絶対にゼロにはならないっていうのは、ここにいる全ての人が承知しているところだと思います。最低限のマニュアルを守ってその感染リスクを下げているんだけど、最終的にどういう環境で学ばせたいか、自分の子供の健康状態だったり、そういうことを考えて選択していくというのは、やはり最後は親の責任になってくるのかなと思うんですけれども、そういうコロナっていう状況も踏まえての30人学級という検討が国のほうで出てきたということは、やはり検討する必要があるという事態は変わってないですね。それに対してその決定がはっきりしてから動き出すっていうのは少し違う。必要性が既に生じているわけです。知り合いのお子さんですが現に今、抗がん剤治療を受けていて、その抗がん剤治療のほうが終わったら、今の学校に復帰する予定だっておっしゃってる方がいます。今までに大きな病気をしたことがなくて、その中で感染症対策をしっかりしていけば、まあまあうちの子は大丈夫であろうという親御さんもいれば、もうそれ以上より一層慎重に学校に通わせたいという親御さんも当然出てくると思うんです。そうするとやはり今まで小規模の学校の弊害ばかりが主張されてきたと思うんですけれども、やはりこの新しい事態を前にして、小規模であることのメリットはとて大きくクローズアップされてきていると思うんです。今までそういう方針の決定に、そこまで固執する意味ってありますか、と私は思います。むしろ前の首相が新たな判断ですって言って消費税の税率を上げなかったっていうこともありましたけれども、最終的には上がりましたけれども、新たな要素が出てきた、新たな判断根拠が出てきたというところで、方針の決定を一度凍結するなりっていうことはあってもいいと思います。いかがでしょうか。

**【教育総務課長】**

お話のありましたとおり、平成29年から今まで、統合についていろいろ検討してまいりましたが、そのときにはお話のあったとおり、コロナの話はまったく出てごいませんでした。コロナの問題が出たので凍結すればいいのではないかというふうなお話ではございますが、これから先、統合に向けた検討をするについても2年半かかります。ですので、ここで凍結をするというようなことではなく、何といたしますか、検討についてはそのまま続けさせていただいて、国からのいろいろな情報、コロナの今後の状況ですとかそういうことについては注視してまいりたいと考えております。

**【管理部長】**

少し補足させていただきます。30人学級を実現しようとするとはこれはもう全市的に法改正が必要になってくるかと思うんですけれども、船橋市だけで見ますと290ぐ

らい教室を増やすことになります。そうすると、学校の先生においても、それにふさわしい人数が増えていく。実際には今現在、全国で30人学級を実現しようとするとして8万人から9万人の先生を新たに雇用しなきゃいけない。その問題をどうするかということがあります。船橋市におきましてもやはり250人以上の先生がここで一気に増えていくことになる。それから290ぐらい学級が増えるということになりますと、この御滝中学校で言えば当然ながら教室不足が発生してくると。市内全体でも90学級ぐらいが不足し増築が必要になってきます。敷地があるところについては増築ができますけれども、増築ができないところは、新たに学区の見直しをしなければいけない。恐らくこの金杉台中学校と御滝中学校の事例でいうと、御滝中学校の学区を見直して金杉台中学校の学区にしていくと、そういうことも必要になってくるかなと思ってます。ですから、実際いつ、30人学級を、もし国がやろうとした場合に、行われるかということが非常に重要になり、現実的な問題となってくる。その時期がいつなのかっていうところがまず大きな理由になるわけなんですけれども、少なくとも文部科学省が10年後というようなことを具体的に示しました。10年後どうなるか、ということになりますけれども、金杉台中学校をこのまま存続すると、10年後には、多分20人台、全学年でも20人台まで減るだろう。それから御滝中学校の場合は統合したとしても、今23学級ぐらいのクラスになっていますけれども、令和5年度ぐらいをピークにして子供たちがだんだん減少に入ります。そうすると10年後になりますと21学級ぐらいという推計が成り立ちますので、それは御滝中学校の中だけでも30人学級が実現できるというふうに見ております。ですから、今わかっていることを総合的に勘案しますと、このまま統合したとしても、御滝中学校については30人学級を実現できるというふうに見ておりますので、統合の検討については引き続き、続けていきたいというふうに見ております。

#### 【発言者②】

今のお話反論したいんですけども、以前の地域説明会でも私の提案として基本的な指定学区はそのまま希望する生徒は原則可能ということをしたらどうか、と申し上げたことがございまして、そのときには教育委員会の皆さん一同に首をひねって、いやいやそれはないよというような感じだったんですけども、学校教育法施行令がどうのこうのってことはありますけれども、あれはかなり市町村の教育委員会の裁量の幅というのを認めていると思うんですね。今、繰り返し申し上げますけれども、コロナっていう事態が出てきて、お子さんにも親御さんにもすごく温度差があると思います。その中でどうしても慎重に考えたい、より少人数のところでは学ばせたいというニーズは絶対になくならないと思います。そして将来推計のこともおっしゃっていましたが、今統合しても特に問題ないということなんですけども、今統合しなくても特に問題ないんじゃないでしょうか。先ほど今回初めて校長先生という現場の先生がお二方いらっしやって、こういう場でお話してくださることで、私かなり大きな安心を得ました。うちの子はもともと御滝中学校ではなく金杉台中学校の学区でしたし、子供に

とってもそのほうがあっていると思っているから学ばせているんですが、校長先生の話聞いてやはり少人数でもちゃんと切磋琢磨できるんだなっていう納得も得ました。また一方で、御滝中学校の校長先生がきちんとこういう場に来て話して下さることで、少なくとも校長先生はあたたかく迎え入れようという意欲をもっているんだという感触を得ることもできました。その点、とても良かったと思うんです。であれば、両方の学校を今とりあえず残しておいて、指定学区をいじるとするのは地域にとって大きな動揺を起こしますので、その指定学区はあるけれども、原則希望するところに行っていえば、恐らく一番動揺も起こらないですし、選びたい子は選ぶことができ、子供の自己決定という幅を広げることができると思うんです。これをもう一度検討していただいたほうがいいんじゃないかと思うんですが、いかがでしょうか。

#### 【管理部長】

ご質問ありがとうございます。今、ご提案いただいたことについては、これはもう昨年度のアンケートの中で地域の方に<sup>しっかい</sup>悉皆調査みたいな形でさせていただいて、金杉台中学校を残すためにはどうしたらいいのかということのアンケートをとらせていただきました。その結果、地域の声も踏まえた上で、最終的に統合という結論を出したと考えておりますので、今からそれを返す、また止めるという考えはございません。

#### 【発言者②】

もう一度反論ですがあの<sup>しっかい</sup>悉皆調査のときに出されていた学区変更案というのは幾つかありましたけれども、私が今申し上げたような基本学区は基本学区として定めた上で希望する生徒は原則的に指定校の変更を認めるというような案が一切なかったと思います。その案をもう一度検討していただいてもいいんじゃないですかと申し上げているんです。あの<sup>しっかい</sup>悉皆調査で学区変更にかなり大きな抵抗があったというのは考えてみればあたりまえのことで旭中学校であったりほかの学校であったり、近隣の学校に金杉台中学校を残すためにあなた方の学区を少しいじってもいいですか、という、縮めてしまえばそういう案になってしまうわけです。金杉台中学校に行きたいっていう子は少人数であれいるんですけれども、もちろんほかの学区には、その学区に元々行くつもりであった学校に行きたいという子がたくさんいまして、そういう<sup>しっかい</sup>悉皆調査をやれば当然パーセンテージとしては金杉台中学校の学区をいじってまでして残してほしくないという意見も当然出てきます。なので私が言っているのは全く別の案です。この調査でもう結論が出たということではなく、基本学区はそのまま残すということであればあの調査のときに出たような不安感から来る反発というのはないと思いますし、その上で原則指定校の変更を認めるということは指定校変更を検討している人にとっては、大きな朗報になると思います。検討していただくに値すると思うんですが、いかがでしょうか。

【司会】

ただいまの質問にお答えをしまして、一旦次の次第に移らせていただきたいと思います。

【管理部長】

はい。ではお答えさせていただきます。アンケートのときには、選択地域や指定校変更を利用してどこの学校に通う予定ですかということをお聞きするとともに、その学区の見直しということをお聞きいたしました。その結果も踏まえる中で金杉台中学校が増えていく見込みがなかったものですから、こういう結論になったということです。

【司会】

ご意見・ご質問は、このあとまとめてお聞きできればと思いますので、次第の次に進めさせていただきます。それでは、次第「4. 令和3年度中学校入学までの今後の流れ」について、担当からご説明いたします。

【学務課長】

次第の「4. 令和3年度中学校入学までの今後の流れ」についてご説明します。資料3をご覧ください。

今月中旬には、御滝中学校と金杉台中学校の選択地域にお住いの方に「選択通知」を小学校経由で通知いたします。これは、どちらか入学する学校を選択いただき、今月末までに小学校を通じて回答を提出いただくものです。

あわせて、本年度は、選択地域ではなく金杉台中学校が指定校の地域にお住いの方に「金杉台中学校入学に関する意向調査」を小学校経由で通知いたします。これは、金杉台中学校に進学されるか、御滝中学校に指定校変更申請されるか、又は、「迷っている。金杉台中学校に進学する人数がわかれば、金杉台中学校への進学も考えたい。」というお考えについて、確認させていただくものです。

今月末までに小学校を通じて提出いただいたのち集計をし、迷っていると回答された方には、「迷っている方がこのくらいいます」「その方が皆さん金杉台中学校へ行かれた場合、男子は何人、女子は何人、になる予定です」というようなことを個別に学務課からご連絡させていただきます。こちらからの連絡に対し、「その人数なら金杉台中学校にしたい」とか、「その人数しかいないなら御滝中学校にしたい」というようなお考えをお聞かせください。学級編制のこともありますので、11月末には、一旦、金杉台中学校何人、御滝中学校何人という、その時点での入学予定者数を固めて、現在小学校6年生の皆さんに小学校を通して通知いたします。

その11月末の入学予定者数も参考の上、お子様とも相談していただき、1月中旬にお送りする入学通知書に対し、指定校変更申請をされるかどうかお考えいただきたいと思います。選択学区にお住いの方についても、「金杉台中学校を検討中」とお答え

いただく欄も作ります。そちらでお答えいただいた方には、同じように個別にご連絡をいたします。1月の20日には御滝中学校の、22日には金杉台中学校の入学説明会がありますので、そのどちらに出席されるのか、もしくは両方出席した上で1月中くらいまでには最終決定いただくと、入学の準備に間に合うと思われれます。

なお、もし金杉台中学校に入学したとして、入学後に「やはり統合前に御滝中学校に転校しておきたい。」ということも考えられます。そのような場合には、金杉台中学校入学後に校長先生とも話し合っていた上、教育的な配慮が必要ということで、個別に対応もいたしますので、一度、入学してしまったら令和5年の統合まで何が何でも、ということではなく、転校についてはその都度ご相談に応じますということをご承知おきください。

### 【司会】

ただいまの説明に関して、ご質問・ご意見をお伺いしてまいります。挙手にてお知らせください。一旦時間を切りました最初の次第2・3についても、もしあれば結構でございます。

### 【発言者③】

私たちの意向としては当然金杉台中学校に行ってほしいと思っていた中でのこういった話というところで、なんとかその統合をなくせないかと考えてきたんですが、非常に厳しいという中でまず1点伺いたいのが、子供のことを考えると来年の入学時から御滝中学校に行かざるを得ないだろうと考えます中で様々な条件が当然コロナであったり発生しておりますけれども、うちの子が御滝中学校の2、3年生で、統合時になったときに、このまま金杉台中学校を存続させますということがまずないことを言っていただけか。そこのところの意識といいますか、意気込みといいますか、そこのところはっきりお聞きかせいただきたい。

どうしても行かざるを得ないという中で、御滝中学校のことについて具体的にお話したいんですが、どうしても今まではここにはない大規模な御滝中学校があるなという目で見えていたので、全く情報がない中で改めて聞かせていただきたいんですが、御滝中学校の全校生徒の人数であったりとか、1クラス当たり何人いるのか。どうしても隣の中学校という目で見ている限りやはり規模が大きすぎるんじゃないか。というところの中では行かせる親として不安が当然あります。一つ保護者資料の2の中の13番に、統合しても教室は足りるのか、とありますけれども、その数を推計してるとありますが、我々が生活している中でも非常に周りにどんどん家が建ってきて、恐らく小学生が増える、それが中学生にあがるというときに、今中学校のキャパとして、ギリギリの中で成り立っているのか、まだまだどんどん受けられるキャパがあるものなのか。そういったところもお聞きかせいただきたいです。

あとはなかなか皆さん方とお話する機会がないので、教えていただきたいんですが、やはり生徒が多かろうか少なかろうか、いじめは起きているというのが、全

国的な認識だと思うんですけども、それに対して具体的な解決策というか指針というか、大規模な中学に行かせるに当たって具体的なその親としての不安を取り除いていただきたいというところをぜひお聞かせいただきたいと思います。

【教育総務課長】

一番初めの質問の、御滝中学校に無理して行かせ、令和5年になったら御滝中学校との統合がなくなっちゃうってということはないだろうねっていう話だと思うんですが。はい。もちろん今の時点では統合予定は令和5年に統合ということで、その考えに違いはございません。

それと2点目の御滝中学校の現在の規模ですが、令和2年5月現在ということでもよろしいでしょうか。今年は1年生が8クラスの290人、2年生も8クラスの306人、3年生が7クラスの273人ということで、合計で23学級の869人になっております。クラスの一つの人数が何人ずつかというのは、40人いかない、38から39人だと思えます。

【御滝中学校 校長】

御滝中学校、1クラスの人数は38から40人（教育総務課補足：事後確認したところ、正しくは36~40人）。多い学級だと40人ちょうどという学級もあります。5月から今の時点で転出入があり、どちらかという転入があるクラスがあります。

【教育総務課長】

あとクラスのキャパの問題ですけども、今のところ中学校で普通学級として使える学級数が28学級でございます。令和5年に御滝中学校と金杉台中学校が統合したときにも28学級（教育総務課補足：事後確認したところ、正しくは27学級）ということで、そこでクラスが足りないということとはございません。また令和5年以降少しずつ生徒数が減っていきますので、27学級から25学級…と減ってまいります。

【指導課長】

いじめについてお答えします。ご質問ありがとうございます。まずはご指摘のとおり、いじめについてはどの学校でもどの学級でも起こりうるものでございます。学校規模が大きいからいじめの件数が多いということではありません。いじめはあってはならないというところは当然であり、逆にいじめが起こらないよう先生や生徒たちが一緒になって日頃から取り組んでいくことが大切であると考えております。具体的な対応につきましては、未然防止、早期発見、早期対応の3つに分けて取り組んでおります。まずは未然防止におきましては教育課程上のあらゆる機会を使っていじめを許さない学校作りに努めているところです。また、児童生徒がいじめについて主体的に考え、取り組む場を積極的に設定しております。早期発見につきましては、年間複数回、いじめアンケートを行ったり、教育相談体制を充実させたりしております。対応につ

いては大変重要でございます。やはり情報を学校内で共有し、組織的に迅速且つ丁寧な対応というところを行っています。教育委員会と学校、また関係機関と連携をとりながら、対応しているところでございます。

【司会】

終了予定時刻をちょっと経過してしまいました。もしご質問ある方、最後の1人とさせていただきますと思うのですが。

【発言者①】

一つ確認しておきたいのは船橋市立小中学校の設置主体は船橋市ですよ。どうも今までの印象として、船橋市教育委員会でやりたくないこと、都合の悪いことはどうも厚労省（教育総務課補足：文部科学省。以下の発言内容の厚労省を文部科学省に修正しました。）の方針だからって逃げられてしまうことが多いです。でも、例えば30人学級、先取りしようと思ったら、文部科学省の方針出す前に、船橋市で、もしやる気があるのなら実現することは法律上は可能ですよね。全国一斉休校という、馬鹿な方針が出たときも従わない自治体がありました。自分たちのところでは流行していない。ちゃんと準備してから一斉休校に入る。そうした自分たちできちんと考えて対応を取られた自治体がありました。船橋市は方針通りすんなり従ってしまったのがっかりしました。ですから、30人学級、できないとおっしゃられましたが、船橋市全体のことです。全体で人数が足りない。例えばこの地区に関しては、総武線沿線地域の人数が増えているところと比べたら、実現する気になればできるはず。つまりそれをやらないというのは船橋市の教育委員会の方針だと私は理解します。いずれ30人学級実現するということですが、問題は今いる生徒たちです。例えばそこでコロナウイルスに感染しました。将来的には30人学級になるから感染をまぬがれました。現在の子供たちにはその恩恵はありません。ですから、将来的にどうではなくて、今のことを考えてほしいと思います。相変わらず発言はやっぱ具体性がなくて、ほかの保護者の方の質問があったのですが、目が行き届くかということ、絶対目が行き届かないと私は断言します。一つは金杉台中学校のほうが教員1人当たりのお子さんの数が少ないです。仮に生徒数が5倍、教員数が5倍としても密度は一緒ですけど、絶対目が行き届かないと思います。なぜかということ5倍注目を集める子が出てくる一方で、全く目が行き届かない子が出てくるからです。私自身は全校の注目を集める生徒でしたけれど、その一方で全く目をかけてもらえない生徒がたくさんいたことも知っています。それは現場の先生方の努力でカバーしていくことになると思うんですけど。規模が小さければ、現場の先生方そんな余分な努力しないで同じことが実現できます。現場の先生方がどんな努力してくれるのか、相当無理することになると思いますが、そういうことに関して相変わらず具体的なお話がありません。全部ほとんど検討するとかで具体的なものがないままに安心ですと言われても私は安心できません。私自身は子供5年生ですから、1年間だけしか行けませんが、絶対金杉台中学校に進

学させるつもりです。同じ方針の方、何人かいますので、ひとりにならないことはわかっています。そのほうが子供の命を守るためにも、学習面でも、クラブ活動でも全て私はいいと思っています。設置主体は船橋市で、船橋市の責任でやっていることです。もし、いい結果が出たら国の文部科学省の手柄ではなく、船橋市の教育委員会の手柄。問題が起こったら文部科学省の責任ではなくて、船橋市教育委員会の責任だと思います。できたら、文部科学省の話でやっていかないで、自分たちの責任でやってほしいと私は思います。

**【司会】**

ご意見ということでよろしいでしょうか。では、以上を持ちまして、全ての日程を終了させていただきます。

**【挙手あり】**

申し訳ございません、お時間を終了してございますので、ご意見等記入用紙でお聞きかせいただければと思います。

お帰りの際、お手数ではございますが、「新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設利用者カード」を窓口付近の回収箱にお入れください。また、今申しましたご意見等ございましたら、「ご意見等記入用紙」にご記入ください。出口付近の回収箱がございました。説明会の中での質疑応答と合わせて、個人等が特定されないように取り扱わせていただきます。また、本日の説明会については市のホームページにも本日の資料と会議録を掲載し、出席できなかった方にもご確認いただけるようにいたします。また、概要をまとめたものを、後日、関係小・中学校に在籍するお子様たちのご家庭へお配りする予定でございます。

それでは、以上をもちまして、「金杉台中学校の統合までの間の入学に関する保護者説明会」を終了いたします。長い時間にわたり、ありがとうございました。お忘れ物のないようお帰りください。

**【管理部長】**

ありがとうございました。先ほどの時間の中ではとても聞くタイミングがなかった、個別に聞きたいことがあるという方がいらっしゃいましたら、どうぞ個別にお話をお伺いさせていただければと思いますのでご遠慮なくお寄せいただければと思います。本日はどうもありがとうございました。